

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 5月 12日

事業所名 児童発達支援 ふあみりずむ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%		スペースには十分余裕があります。
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%		連携をして、配置をしています
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている	100%	0%		おもちゃや教材は取り出しやすく、種類ごとに配置しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%		静かに過ごしたい・ダンスなど動きのある活動に合わせて、スペースを工夫している
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	86%	14%		いざというときに備えられるように、定期的に確認する
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%		今回初めての自己評価。今回の評価を周知共有する。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%		ホームページで公開予定
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%	0%		必要に応じて改善につなげる。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%		事業所内にての研修や、各自オンラインなどの関心のある研修を共有しスキルアップに取り組んでいる
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%		モニタリング、日々の様子を電話やLINEを通して共有し、支援計画に反映させている
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	検査結果を基に支援の課題、声かけなど適切な対応をしている	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	定期的に、また、課題が見えたときに、児童発達支援計画を見返し確認しながら支援している	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	案を作成する段階で、情報を持ち寄り反映している。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	個々の職員の持ち味・得意なことを生かしプログラムに取り入れている	
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0%	個々に合わせた個別活動・集団活動を組み合わせている		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	前日までに利用者名、プログラムの確認、当日に支援の留意点を確認共有している	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	気づいた点、声掛けの内容など共有し、適切な支援ができたか確認している。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	支援記録にその日の様子を記入。課題共有し、検討に繋げている	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	6か月ごとのモニタリングの他に、事業所からの気づき、保護者からの相談に応じて見直しをしている	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	自発管、子どもの状況を把握している職員が参画している	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%		市役所の関係機関と連絡を取っているが、子育て支援関係等には連携できていない。今後検討する。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%		現在は医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の支援は行っていない
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	100%	0%		現在は医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の支援は行っていない
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	関係機関連携を開催し、情報共有をしている	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	100%	0%		今のところ交流はないが機会があれば交流したい
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	100%	0%		参加できていない。今後検討する
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	連絡帳や、LINE・電話などでその都度、連絡をしている	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	100%	0%		家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援は、行えていないが、保護者に対して家族支援プログラム(事業内相談、家庭連携等)を行い保護者の悩みに応えている
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時に説明し、また、ご質問等に応じている	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	家庭連携・事業所内相談について、契約時に説明と同意を得て、ご希望に応じて場を設けている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100%	0%		保護者会等の開催は開催していないが、イベントなどで保護者の方が集う時に、お子さんと保護者の方の紹介し連携の機会を設けているが
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%		現在、そのような事例はないが、起こった場合は迅速に対応を行う
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	Instagram、LINEなどを利用し、活動の様子や伝えたい事(できた事、頑張ったこと等)も含め発信している	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	施錠し管理している	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	絵カードやホワイトボード等、視覚で伝える・ゆっくりと易しい表現で伝えている	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	71%	29%	ダンスイベントのチラシの配布やSNSでの発信にて告知したが、周知が少なかつた	周知が少なかつた。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%	災害訓練は毎月行っている。職員も参加することで、ブラッシュアップしている。災害用伝言ダイヤル体験を家庭で再生してもらい、連携している。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	災害訓練は毎月行っている。	慌てず対応できる様、ブラッシュアップしていく
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%	服用・予防接種後報告をしてもらっている。てんかんの薬の服用の留意点の保護者と確認しあっている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%		当該の子どもは居ない。対象者がいた場合は、医師の指示書を受け取る。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	お互いの言動を見返す機会や、情報共有や研修を行っている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0%		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。